



東松島市文化財講演会 **ここまでわかった！**

## あかい かんが 赤井官衙遺跡

3月15日(日)赤井市民センターで東松島市文化財講演会「ここまでわかった！赤井官衙遺跡」を開催し、東北学院大学博物館学芸員・文学部非常勤講師の佐藤敏幸(さとうとしゆき)先生にご登壇いただきました。

### 赤井官衙遺跡群の調査の歴史、明らかになった遺跡の重要性！

赤井官衙遺跡は約1,300年前に現在の石巻地方を治めた古代の役所・軍事施設跡です。1986年から始まった赤井官衙遺跡の発掘調査と、その調査から明らかになった遺跡の重要性、なぜ日本の歴史を知るうえで重要な遺跡であると評価され、国の史跡に指定されたのかをお話いただきました。ポイントは以下の3つです。

#### 01 POINT

関東からの移民集落をベースに古代牡鹿郡の役所・軍事施設が造られたことがわかる



当時の関東地方の特徴を持つ土器や建物などから、関東からの移民集落があったことがわかっています。その後、古代の役所、軍事施設に造り替えられました。こうした変遷が明らかになっている遺跡はほとんどなく、赤井官衙遺跡の大きな特徴と言えます。

#### 02 POINT

蝦夷の領域における古代の役所の実態や役人の出自がわかる

役人の出自がわかることが特に重要で、日本で赤井官衙遺跡だけ！だそうです。古代牡鹿郡のリーダーであった道嶋(丸子)氏が現在の千葉県房総半島から移住してきたことが文献からわかっており、墓の形態に共通する特徴が見られることから、考古学的にも裏付けることができます。



#### 03 POINT

律令国家成立期の東北経営が理解できる

ポイント①・②を総合して、当時の日本が関東の人々を東北に移住させ、その移住者に在地の人々を支配させたことがわかる遺跡だということがとても重要ということでした。



“ 続きの話は次回に！ ”

残念ながら、お話の途中で予定の時間となったため、古代牡鹿郡のリーダーであった道嶋氏や、その墓地である矢本横穴の詳しいお話はまた次回ということに。アンケートでも続きを期待する声が多数寄せられましたので、佐藤先生にはあらためて講演をお願いさせていただきたいと考えています。

## 縄文体験・体感 WEEK! 5.2 SAT ▶ 5.5 MON 9:30-14:30 (5日のみ 10:00-14:30)

毎日体験できます! ▼▼▼

 まがたま作り【40~60分】  
¥400

 シカ角ストラップ【40~60分】  
¥400

 火おこし体験【15~30分】  
¥150 ※時間入替制  
※強風・雨天時休止

 貝塚ガイドツアー【60~80分】  
¥無料 10:30 / 13:00 出発  
※強風・雨天時休止

日替わりMENU ▼▼▼

5/2 SAT  イノシシの土鈴【60~90分】  
¥500 ※お渡しは約1ヵ月後となります。  
粘土でかわいいイノシシを作ろう!

5/3 SUN  貝のブレスレット【40~60分】  
¥300  
貝を割って削って腕輪にしよう!

5/4 MON  コハクのアクセサリー【60~90分】  
¥2,000  
樹脂の化石・コハクを削ってまがたまを作ろう!

こどもの日は  
入館&体験無料 DAY!

5/5  
TUE



火おこし・まがたま・シカ角ストラップ・弓矢から3つ選んで体験できます。



最新情報は  
こちらから



facebook

Instagram

HP